

水切りのすすめ

生ごみは、多くの水分を含んでいるため、水切りを徹底するだけでもかなり減量できます。

ごみとして出す場合でも、収集の際にごみ袋から水がしたたることなく衛生的に処理できます。また、しっかり水を切ってからごみ袋に入れることで生ごみ特有の腐敗臭が出づらくなります。ぜひ一度効果をお試してください。

水切りの基本は、「最初から濡らさない」ことです。

- 野菜などは、使えない部分を始めに分けてから洗う。
- 乾いた調理クズ用の入れ物を用意する。

このようなことを心がけ、残った生ごみを「手で握る」、「いろいろな紙や布でくるむ」ことで、水切りネットのみでの水切りより、数段、減量効果がアップします。



堆肥化のための共通ポイント

紹介した各堆肥化方法に共通する「大事なポイント」をまとめました。

ちょっとした気遣いとひと手間で、微生物が活動しやすくなり、エネルギーの消費も少なくてすみます。

- ①生ごみになるべく水をかけない
(水がかかると腐敗しやすくなる)
- ②なるべく新鮮なうちに入れる
- ③腐敗したものは入れない
- ④なるべく細かくして入れる
(早く処理できる)
- ⑤魚・肉などは火を通してから入れる
(早く処理でき臭いも少ない)

リサイクルプラザ宮の沢

ごみ減量・リサイクルを推進するための活動施設です。

生ごみについては、ダンボール箱利用の堆肥化の相談、堆肥化講習会の開催などを行っています。

〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目 札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ)1階

Tel011-671-4153 10:00～18:00開館(年未年始・月曜休館、ただし月曜が祝日の場合は翌平日休館)

リユースプラザ

ごみ減量・リサイクルを推進するための活動施設です。

生ごみ堆肥化講習会等を開催するほか、併設する厚別地区リサイクルセンターではダンボール堆肥化処理物や電動生ごみ処理物の受入も行っていきます。

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目(厚別清掃工場跡地)

Tel011-375-1133 10:00～16:00開館(年未年始・月曜休館、ただし月曜が祝日の場合は翌平日休館)

ごみ減量実践活動ネットワーク(さっぽろスリムネット)

ごみ減量実践活動ネットワークは、市民・事業者・札幌市が一体となって、市民の日常生活や企業の事業活動におけるごみの発生・排出抑制、再利用、リサイクル等のごみ減量につながる具体的な活動を展開することを目的に平成17年3月に設立されました。

「生ごみ」をはじめ、ごみ減量に力を入れるべき分野にプロジェクトを設置し、さまざまな事業を展開するとともに、広く一般市民、事業者に参加を呼びかけ、ごみ減量の実践者の輪を拡大しています。

生ごみハンドブック(普及版)

～はじめよう! 生ごみリサイクル～

発行日 平成23年11月

発行

編集

札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL 011-211-2928 FAX 011-218-5108

ごみ減量実践活動ネットワーク

R100 この冊子は古紙を100%使用しています。



さっぽろ市
01-J02-11-1055
23-1-48